各 位

2004年 5月 27日
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(コード番号4560 東証第一部)

米国アラガン社創製の緑内障治療点眼薬「アルファガン/アルファガンP」 に関するライセンス契約締結について

杏林製薬株式会社(東京都 社長：荻原郁夫)は、この度、米国アラガン社(カリフォルニア州会長・社長兼CEO：D.パイヤット)が創製した緑内障治療点眼薬「アルファガン(酒石酸プリモニジン0.2%含有)」及び「アルファガンP(酒石酸プリモニジン ピュアライト0.15%含有)」について、同社と日本における独占的開発及び販売契約を締結いたしました。

本契約に至った経緯は、杏林製薬(株)が自社で創製した「ガチフロキサシン点眼液」を2000年8月にアラガン社に導出した際、クロスライセンスとして導入品の権利を獲得しており、今回その権利を行使したものです。

また、杏林製薬(株)は眼科領域製品において包括的な提携を行っている千寿製薬株式会社(大阪市 社長：吉田祥二)に対し、「アルファガン」及び「アルファガンP」の開発権及び販売権を供与することといたしました。杏林製薬(株)は呼吸器、耳鼻科、泌尿器科に集中するフランチャイズカスタマー戦略を推進していることから、重点領域外となる眼科領域で高い開発力、強い販売力をもつ千寿製薬(株)への導出により、効率的な開発や自社販売を上回る収益を期待できること、一方千寿製薬(株)は本剤の導入により眼科領域の製品群の補完が図られることから今回の合意に至りました。

「アルファガン」及び「アルファガンP」は選択的 2作動薬として、既に米国を始め世界で販売されており、緑内障治療点眼薬領域での2003年度売上は世界第3位の実績を示しております。同薬剤は、房水の産生抑制と流出の促進という2つの作用機序により優れた眼圧下降効果を示すと共に、高い安全性が確認され、緑内障及び高眼圧症に対して広く使用されております。

今後は、アラガン社、千寿製薬(株)、杏林製薬(株)の3社は日本国内において、開発から販売まで本剤のマネジメントを共同で行ってまいります。

以 上

この件に関するお問い合わせ

杏林製薬株式会社 経営企画部
TEL：03-3293-3414
FAX：03-3293-3454